



人文研アカデミー【夏期公開講座】

名作再読「道を語る」

——いま読んだらこんなに面白い(6)

■ 古勝隆一 道とは何か ——『老子』河上公注かじょうこうちゆうを読む ——

■ 横山俊夫 色道手引きを読む ——『難波鉦』なにわづら ——

■ 黒岩康博 大衆化する「道」 —— 飛田穂洲とびたすいしゅう『野球道』を読む ——



2011.7.9 [sat]
13:00—17:00

人文科学研究所本館
1F 共通1 講義室

主催／京都大学人文科学研究所



お問い合わせ

京都大学人文科学研究所総務掛
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL.075-753-6902
メールアドレス z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp
ホームページ <http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/>



名作再読～道を語る

いま読んだらこんなに面白い(6)

「道(タオ)」とは、古代中国で唱えられた「真理」を表わすことばであり、道家の思想や道教を生み出した。このことばは後に日本にも入り、日本の人びとの考えや暮らしにはかりしれない影響をあたえます。華道、茶道、武道、いずれも「道」であり、それぞれの奥に、深遠な境地があるとされました。一方、この漢字は「みち」と訓じられ、「道」はおもに奥へと到る筋みちを意味するだけでなく、日常に「生きる道」としても語られることになったのです。講座では、三者三様に選んだ「名作」が語る「道」をたどりたいと思います。



古勝 隆一 京都大学人文科学研究所 准教授
こがち・りゅういち

専門：中国古典学
主要著書：『中国中古の学術』(研文出版、2006)
余嘉錫『古書通例』(共訳、平凡社、東洋文庫、2008) ほか



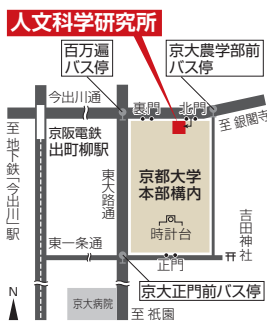
横山 俊夫 京都大学人文科学研究所 教授
よこやま・としお

専門：文明史
主要著書：『Japan in the Victorian Mind』(Macmillan Press、1987)
『貝原益軒——天地和楽の文明学——』(平凡社、1995)
『二十一世紀の花鳥風月』(共編、中央公論社、1998) ほか



黒岩 康博 京都大学人文科学研究所 助教
くろいわ・やすひろ

専門：日本近代史
主要著書：「宮武正道の「語学道楽」——趣味人と帝国日本——」
(『史林』第94巻第1号、2011)、
『文人世界の光芒と古都奈良——大和の生き字引・水木要太郎——』
(共著、思文閣出版、2009) ほか



○市バス「農学部前」下車 徒歩1分
○「百万遍」下車 徒歩5分
※北門を入ってすぐ右側

人文研アカデミー・次回予告

●連続セミナー
异体字の眩埜(いたいじのこうや)
講師 安岡孝一
日時 2011年9月15、22、29日、
10月6日(各木曜)18:30~20:00
会場 人文科学研究所本館・セミナー室 1

●特別セミナー
ライフサイエンスの半世紀
——歴史を振り返り、現在を考える
講師 中村桂子、小林傳司
日時 2011年11月16日(水曜)
16:00~18:00
会場 人文科学研究所本館・大会議室